

中国・大連通信

(北九州市大連事務所活動報告)

北九州市立大学からの交換留学生10人が、大連事務所に遊びに来てくれました！

ポイント

- 北九大からの留学生10人が大連での生活を開始。「ロシア風情街」や「大連美術館」を巡り、両市の歴史的・文化的な繋がりに触れながら、留学の第一歩を踏み出しました。
- 大連で活躍する同大OGなどとの交流会では、若者らしい優れた適応力を発揮していました。
- 当事務所では、大連で活躍する社会人との交流など、ここでしかできない体験の場を提供するなど、彼らの挑戦を今後も応援していきます。

1. 留學生活の始動と両市の絆を学ぶ歴史探訪

この3月、北九州市立大学からの交換留学生10人が来年年明けまでの大連外国語大学での留學生活をスタートさせました。

出発前から当事務所に連絡をくれ、到着後すぐに事務所を訪ねてくれたことは、現地で働く私たちにとって大きな喜びでした。

彼らの瑞々しい意欲に触れて、私たち自身も事務所のミッションを再認識する貴重な機会ともなりました。

学生たちの多くが初めての大连だったこともあり、まずは都市の歴史を理解するため、大連近代化の原点である「ロシア風情街」を案内しました。あわせて、門司港レトロ地区にある「大連友好記念館」のもととなった「大連美術館」を訪れ、両市の深い縁と多層的な歴史を肌で感じてもらいました。



2. 北九大OG・現地学生との交流

その後、激励の意味を込め、大連で活躍する活躍している日本語雑誌編集長や弁護士の同大OG、地元の中国人学生らとの交流会を開催しました。

先輩方からは「限られた期間の中で語学習得に励むのはもちろん、多くの友人を作り、幅広い視野を養うことこそが一生の財産になる」という、実体験に基づいた力強いアドバイスが送られました。

私自身、学生たちの高い適応力には改めて驚かされました。交流会で中国人学生と積極的に連絡先を交換し、自らネットワークを広げようとする姿勢のみならず、生活面でもその頼もしさを発揮しています。中国での生活に不可欠な携帯電話の契約やモバイル決済の設定といった、外国人にとってハードルの高い手続きも、学生同士で協力し合い、速やかに完了させていました。何事も自らの力で切り拓こうとする彼らの姿に、次世代を担う国際人としての可能性を強く感じました。

3. 未来の国際人育成に向けた大連事務所による継続的なサポート

日中関係が厳しい中、自ら中国での学びを選択した学生たちの挑戦を、当事務所はこれからも全力で後押ししていきます。今後は大学での勉強に加え、北九州ゆかりの企業人らとの交流など、この地ならではの実体験を通じた成長の機会を積極的に提供していきます。

大連での日々が、将来、北九州と世界をつなぐ真の国際人として羽ばたくための確かな礎となるよう、彼らの歩みに寄り添い、引き続き支援を続けていきます。

本稿の担当 = 北九州市大連事務所 山口 (suozhang@kitakyusyu-dl.com)

本稿に対するご感想、大連に限らず中国に関するお問合せなど何かありましたら上記までぜひご連絡ください